

博物館

1. 基本理念

- ・市民の創造性を高めます。
- ・郷土を大切にすることを育みます。
- ・世代をつなぎます。
- ・歴史を未来に活かします。
- ・学校教育をより豊かなものにします。

2. 施設の概要

・名称	四日市市立博物館	
・所在地	四日市市安島一丁目3番16号	
・開館年月日	平成5年11月1日	
・敷地面積	1,845.840 m ²	
・建設面積	1,590.397 m ²	
・延床面積	10,147.108 m ²	
・建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2F、地上6F	
・主な室名と面積		
展示・教育部門	2,156.155 m ²	
常設展示室	2 F	564.691 m ²
常設展示室	3 F	454.618 m ²
特別展示室	4 F	594.798 m ²
ラウンジ	2～4 F	281.020 m ²
情報コーナー	1 F	118.810 m ²
講座室	1 F	142.218 m ²
収蔵部門	1,256.230 m ²	
収蔵庫	B 2 F	243.290 m ²
収蔵庫 前室	B 2 F	38.880 m ²
収蔵庫	B 1 F	282.170 m ²
収蔵庫	B 1 F	384.496 m ²
収蔵庫 前室	B 1 F	76.086 m ²
荷解室	1 F	231.308 m ²
研究部門	430.207 m ²	
作業室	2 F	60.464 m ²
資料整理室	B 1 F	84.370 m ²
文献資料室	3 F	37.952 m ²
資料評価室	4 F	33.300 m ²
くん蒸室	B 1 F	43.070 m ²
スタジオ暗室	B 1 F	87.510 m ²
ビデオ編集室	B 1 F	16.882 m ²
会議室	4 F	37.952 m ²
会議室	3 F	28.707 m ²
プラネタリウム部門	1,714.282 m ²	
客室(ドーム)	5 F～6 F	565.017 m ²
天文学習室	5 F	59.081 m ²
天文展示コーナー	5 F	194.763 m ²
天文係事務室	5 F	59.326 m ²
空調機械室	5 F～6 F	836.095 m ²
管理・一般部門	4,590.234 m ²	
事務室	3 F	105.059 m ²
応接室	2 F	37.001 m ²



会議室	2 F	50.422 m ²
ミュージアムショップ	1 F	28.723 m ²
警備室	1 F	20.812 m ²
中央監視室	B 2 F	44.064 m ²
設備機械室	B 2 F	486.190 m ²
電気室、発電機室		240.152 m ²
倉庫、展示備品庫など		3,577.811 m ²
プラネタリウム		1,714.000 m ²
ドーム径 18.5m 傾斜型(傾斜度 20度)		
座席	155 席	
ヘリオス		
全天周映画	可能	

3. 展示等事業

(1) 常設展示

博物館の常設展示は、基本テーマ「伊勢湾(うみ)と鈴鹿山脈(やま)のある四日市の文化と生活環境」をもとに地質時代から現代に至る「四日市のあゆみ」をその時代ごとの特色を生かし、テーマ1～テーマ6に分けて展示する。

各テーマのスペースでは、そのテーマのメインとなる展示とその他の詳細な展示に分け、展示資料に応じて実物や複製品、情景模型のほか映像や図表などで表現している。

また、文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄の業績を永く伝えていくため丹羽文雄記念室を常設する。

・テーマ1 北勢地域のおいたちと自然環境

テーマ展示では、本市平津町で発見されたアケボノゾウの臼歯の化石とその全身骨格の復元模型を展示している。

詳細展示では、「自然のすがた」「大地のおいたち」「化石は語る」など現在までの伊勢湾や鈴鹿山脈、伊勢平野の地形と地質の成り立ちや自然環境の様子を展示している。

・テーマ2 原始・古代の人びとの生活

テーマ展示では、縄文・弥生・奈良各時代の集落の様子や古墳時代の前方後円墳の築造過程を情景模型で展示している。

詳細展示では、「石器を使った人びと」「土器を使った人びと」「米づくりと青銅器の製作」「大和朝廷と北勢地域」「古墳の築造と渡来人の活躍」「律令国家への道」など、旧石器時代から縄文・弥生・古墳・飛鳥・奈良時代を経て平安時代までの人々の生活の様子を展示してい

る。

・テーマ3 『四日市』と『四日市庭浦』の成立

テーマ展示では、市名の由来となった中世後期の市や町並みの様子を推定復元し、情景模型で展示している。

詳細展示では、「中世の武士と商人」「伊勢湾諸湊と四日市庭浦」「くらしと生活用具」「いのりと信仰の世界」など、「四」のつく日に定期的に市が開かれて、『四日市』の名称が起こったこと、伊勢湾の水運にも『四日市庭浦』が重要な役割を果たしたことを中心に鎌倉時代から安土桃山時代までの様子を展示している。

・テーマ4 東海道と伊勢参宮道の賑わい

テーマ展示では、情景模型に映像を内蔵した特殊映像装置を用い、東海道と伊勢参宮道の分岐点である日永の追分の賑わいを再現している。

詳細展示では、「近世への胎動」「宿場と東海道」「四日市湊と町の展開」など四日市が東海道五十三次の四十三番目の宿駅として、また日永が伊勢参宮道との分岐点として発展してきた江戸時代の様子を展示している。

・テーマ5 四日市港と近代産業の発展

テーマ展示では、大正時代の市中心部の装置模型や旧四日市港の潮吹き堤防の情景模型を展示している。

詳細展示では、「みなとの整備」「近代のくらしと社会」「地場産業と近代産業」など本市の近代化の大きな礎となった四日市湊の改修と機械生産の技術導入による製糸をはじめ製茶、製網、製油、萬古焼の地場産業に焦点を当て、また、幕末、明治以降から市制を施行し次第に市域を拡大していく昭和初期までの近代の様子を展示している。

・テーマ6 戦災からの復興と都市の創造

テーマ展示では、本市の重要な産業である石油化学工業を映像や装置模型で展示している。

詳細展示では、「戦後のあゆみ」「港湾産業都市としての再生」「石油化学工業」「四日市港の輸出入」など。また情景模型に映像を内蔵した特殊映像装置を用いて甚大な被害をもたらした四日市空襲とその後の復興を再現するとともに、産業都市として再生してきた現代の様子を市民生活と産業の二つの視点から取り上げている。

・コーナー展示 浮世絵四日市・四日市祭り

四日市が描かれた浮世絵と、戦前には「東海三大祭り」のひとつに数え上げられた四日市祭りの代表的な山車や練り物を縮尺1/20と1/40の復元模型で展示している。

・丹羽文雄記念室

文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄(平成17年4月逝去)の足跡と業績を紹介している。丹羽作品の初版本や豪華本を始め、芸術家のための健康保険組合の創設、「文学者之墓」の建立など、文学者の社会的地位の向上に尽力し、日本文藝家協会理事長をながく務めた功績などを展示している。

また、20数年にわたって丹羽が私費を投じて刊行した雑誌「文学者」の同人たちが集った丹羽邸応接間も再現されている。

(2)特別展・企画展

「岩合光昭どうぶつ写真展」	
会 期	平成24年4月21日(土)から 6月24日(日)までの56日間
観 覧 料	一般 700円 高・大生 500円
入館者数	8,513人

「イギリスからくり人形 ゆかいな世界展」		
会 期	平成24年7月14日(土)から 9月2日(日)までの44日間	
観 覧 料	一般 600円 高・大生 400円	
入館者数	10,437人	
講演会	7月28日(土)	「からくり人形の不思議」 平野 茂実 (首都大学東京非常勤講師)
	8月19日(日)	「私が見た英国 英国人とユーモア」 小林 良輔(当館前館長)

「2012 イタリア・ポローニャ国際絵本原画展」		
会 期	平成24年9月29日(土)から 11月4日(日)までの32日間	
観 覧 料	一般 700円 高・大生 500円	
入館者数	3,998人	
関連行事	10月7日(日)	「つつみあれいとキノコの絵 本を作ろう」 つつみあれい(絵本作家)
	10月20日(土)	「ギャラリートーク」 田中伸一(当館学芸員)
	10月28日(日)	「絵本読み聞かせ会」 大学生5人・高校生1人 当館学芸員1人

「久留倍官衙遺跡 伊勢湾をのぞむ古代の役所」		
会 期	平成24年11月11日(日)から 12月9日(日)までの25日間	
観 覧 料	無料	
入館者数	1,695人	
関連行事	11月23日 (金・祝)	講演会「久留倍官衙遺跡 復元建物の魅力」 箱崎 和久(奈良文化財研 究所遺構研究室長)
	11月18日(日) 12月2日(日)	「古代の衣装を着てみよう」

「昭和の暮らし展」		
会期	平成 25 年 1 月 19 日(日)から 3 月 3 日(日)までの 38 日間	
観覧料	一般 300 円 高・大生 200 円	
入館者数	8,080 人	
講演会	2月16日(土)	「昭和のくらし博物館から考える 昭和 30 年代の暮らし方」 小泉 和子 (登録文化財昭和のくらし博物館館 長、家具道具室内史学会会長)

『第 54 回北勢高校美術展』	
会期	平成 25 年 3 月 12 日(火) から 17 日(日)までの 6 日間
入館者数	492 人

(3)特別陳列・学習支援展示
学習支援展示

大昔の四日市 弥生時代と古墳時代	4月28日(土) ～6月3日(日)	サルビアギャラリー ・3Fロビー
四日市空襲と 戦時下の暮らし	6月15日(金) ～9月2日(日)	サルビアギャラリー ・3Fロビー
江戸時代の四日市	11月3日(土・祝) ～12月9日(日)	サルビアギャラリー
昭和の暮らし展	1月19日(日) ～3月3日(日)	4F特別展示室

特別陳列

博覧会と四日市	1月4日(金) ～2月11日(月・祝)	サルビアギャラリー
収蔵品展	2月23日(土) ～4月7日(日)	サルビアギャラリー

4. 教育普及事業

(1)子ども博物館教室 (場所：講座室及び館内)
親子で挑戦！ 楽しい年中行事(全5回)

4月22日	日	端午の節句	当館指導主事 三谷 耕介
6月24日	日	たなばた	
9月23日	日	四日市祭	
12月16日	日	お正月	
2月17日	日	ひなまつり	

ワークショップ

5月12日	土	動物写真で アートしよう	当館指導主事 三谷 耕介
6月17日	日	四日市空襲の お話を聞こう	
7月21日	土	手づくりオートマタ に挑戦	
8月18日	日	からくりおもちゃ に挑戦	
11月18日	日	親子で博物館探検	
12月8日	土	手づくりランプシェ ードをつくろう	

むかし体験シリーズ

1月26日	土	昭和の道具を 使ってみよう	当館指導主事 三谷 耕介
2月9日	土	昭和の おやつをつくろう	
2月23日	土	昭和っ子の あそびをしよう	

(2)一般向け講座 (場所：講座室及び館内)
古文書で知る江戸時代

4月15日	日	江戸時代の暮らし	当館学芸員 廣瀬 毅
5月20日	日	村の暮らし	
6月10日	日	村の暮らし	
7月8日	日	江戸時代の暮らし	
9月16日	日	江戸時代の暮らし	
10月28日	日	町の暮らし	
11月25日	日	町の暮らし	
1月6日	日	江戸時代の暮らし	
2月10日	日	武士の暮らし	
3月17日	日	武士の暮らし	

大人の社会科

5月13日	日	バックヤードツアー	当館学芸員 廣瀬 毅
8月12日	日	学芸員体験	
10月21日	日	和綴じに挑戦	
1月27日	日	学芸員体験	

ミュージアムセミナー「西洋近代絵画の楽しみ方」

月 日	内 容	講 師
9月2日(日)	ワイエス	高橋 秀治(愛知県美術館副館長)
10月14日(日)	ゴッホ	江本 菜穂子(名古屋造形大学教授)
11月4日(日)	モネ	深谷 克典(名古屋市美術館学芸課長)
12月2日(日)	クリムト	栗田 秀法(名古屋芸術大学准教授)

(5)教員のための研修

7月31日	火	教員のための 体験的博物館研修	当館企画普及係 職 員
8月3日	金	初任者研修	当館企画普及係 職 員
8月18日	土	初任者研修	当館企画普及係 職 員

(6)博物館実習(大学生・大学院生対象)

8月7日(火)~8月12日(日) 共通実習
8月16日(木)~8月19日(日) 個別実習
受講生13人(10大学)

(7)職場体験(中学生対象)

体験学校数 9校
体験者数 30名

(8)学習支援展示「むかしの暮らし」学校見学の対応
(小学校3年生対象)

【企画展2「昭和の暮らし展」の一部として展示】

見学学校数 44校
見学者数 市内2,458名・三重郡367名
・その他432名 計3,257名

(8)ボランティアの養成と協働

登録者数 95人 延べ活動者数 1,478人

5.資料収集・保存

(単位:件)(平成25年3月末現在)

1	区 分	実 物・標 本	模 型 複 写
	(1)考古 (2)美術工芸 (3)民俗 (4)歴史 (5)文学	1,174 2,557 5,322 8,694 4,861	29 10 10 37 0
	計	22,608	86

2	区 分	実 物・標 本	模 型 複 写
	(1)動物資料 (2)植物資料 (3)地学資料 (4)理工学資料 (5)天文資料 (6)その他の資料	0 3,272 93 0 7 0	0 0 2 0 0 1
	計	3,372	3

6.プラネタリウム事業

季節番組を3種類(キャラクター番組、テーマ番組、星空番組)に分けて投映した。テーマ番組のうち冬春番組を自主企画で制作するとともに、季節に合わせた話題を特集する星空番組「星空キャスターにおまかせ」を、50分間のフルライブで解説をした。さらに、夏休み期間限定で学習番組として「宇宙天気予報」を投映し、土曜日と日曜日は11時40分の回を増設し、5回投映とした。

また、市民が天文・科学をより詳しく学習する機会として、「宇宙塾」を年2回実施した。その他、聴覚障害者にも配慮した字幕付き投映、園児や児童を対象とした学習投映、各種コンサートなどを実施した。

天文普及活動では、子ども科学教室や小・中学校との連携による授業、プラネタリウム指導者研修会など各種の事業を実施し、幅広く天文の普及に努めた。

プラネタリウム投映事業

(1)季節番組
冬春番組

平成24年2月4日(土)~5月27日(日) (テーマ)「金環日食 ~太陽が魅せる神秘の瞬間~」 (キャラクター)「ヤッターマン 星空大作戦だコロン!!」
--

夏番組

平成24年6月2日(土)～9月30日(日) (テーマ)「シーモンスター」 (キャラクター)「ポケットモンスター ベストウイッシュ 光と影のテンキュウギ」 平成24年7月21日(木)～平成24年9月2日(日) (夏休み期間限定学習番組)「宇宙天気予報」
--

秋冬番組

平成24年10月6日(土)～平成25年1月27日(日) (テーマ)「スターリーテイルズ 星座は時をこえて」 (キャラクター)「それいけ!アンパンマン ～星の色と空の色～」
--

冬春番組

平成25年2月2日(土)～5月26日(日) (テーマ)「南十字星をたずねて」 (キャラクター)「クレヨンしんちゃん かすかべ防衛隊 宇宙クイズで勝負だゾ!」

星空番組 星空キャストにおかませ

平成24年4月3日(火)～平成25年3月29日(金)	
4月 かに座特集	10月 名月特集
5月 しし座特集	11月 流れ星特集
6月 七夕特集	12月 クリスマス特集
7月 七夕特集	1月 オリオン座特集
8月 (番組変更のため中止)	2月 オーロラ特集
9月 名月特集	3月 オーロラ特集

～の番組については、各1回字幕付き放映を実施
(ただし、宇宙天気予報は除く。は平成25年度に実施)

(2) 学習番組(団体利用放映)

<ul style="list-style-type: none"> 平日の午前 10:00～10:45 11:00～11:45 保育園、幼稚園、小・中学校、高校等の団体対象 (事前申込みが必要) 季節の星座を中心に、年齢・学年に応じた、生解説による 双方向型の学習用プラネタリウム
--

< 季節番組・学習番組の放映時刻 >

平日	学習 10:00 11:00	テーマ番組 13:20	星空番組 14:40	
土曜日 春冬休みの 平日	キャラクター 番組 10:30	キャラクター 番組 13:20	テーマ番組 14:40	星空番組 16:00
日曜日・祝日 春冬休みの 土・日・祝日	キャラクター 番組 10:30	キャラクター 番組 13:20	テーマ番組 14:40	キャラクター 番組 16:00

夏休み 火～金	キャラクター 番組 10:20		キャラクター 番組 13:20	テーマ 番組 14:40	キャラクター 番組 16:00
夏休み 土曜日	キャラクター 番組 10:20	テーマ 番組 11:40	キャラクター 番組 13:20	学習番組 14:40	学習番組 16:00
夏休み 日曜日	キャラクター 番組 10:20	テーマ 番組 11:40	キャラクター 番組 13:20	学習番組 14:40	学習番組 16:00

(3) 特別番組

「宇宙塾」～天文楽しませんか?～ (全2回) ・天文学の最前線で活躍中の研究者などを講師として迎えて、 最新の話題や実験・質問を織り交ぜた、プラネタリウム 特別版 16:30～18:00 平成24年7月14日(土)「最新恐竜学」 講師:国立科学博物館 研究主幹 真鍋 真 平成24年9月29日(土)「月のふしぎ」 講師:愛知教育大学 教授 澤 武文

指導者研修会と兼ねて実施

生演奏コンサート (全2回) 平成24年6月15日(金)19:00～20:30 「グレゴリー・セドフ ピッコロヴァイオリンの世界」 演奏者:グレゴリー・セドフ 平成24年6月30日(土)18:00～19:30 「栗コーダーカルテット コンサート」 演奏者:栗コーダーカルテット
--

星空CDコンサート (全3回) ・19:00～20:00 平成24年8月17日(金)・18日(土) 夏の星空と「EXILE」特集 平成24年12月21日(金) クリスマスの星空と「山下達郎」特集
--

金環日食特別解説 (全6回) 日時:平成24年5月12日(土)・13日(日) ・13:20～14:10 ・14:40～15:30 ・16:00～16:50

家族のための 読み聞かせプラネタリウム (全3回) 日時:平成24年10月27日(土) ・13:20～14:10 ・14:40～15:30 ・16:00～16:50 声優:倉田雅世

天文普及事業

子ども科学教室（全3回）
夏コース 日時:平成24年8月4日(土)・5日(日) 16:00～19:00 内容:光を楽しむ 万華鏡を作って実験する
春コース 日時:平成25年3月23日(土) 15:00～19:00 内容:手作り望遠鏡を作り、月と木星の観望をする

公開観望会（きらら号が出勤しない）
・ 時間: 19:00～21:00 ・ 場所: 星の広場(水沢町) ペルセウス座流星群観望会 平成24年8月12日(日) オリオン座流星群観望会 平成24年10月21日(日) ふたご座流星群観望会 平成24年12月14日(金)

プラネタリウム指導者研修
・ 教育支援課などと共催で実施 宇宙塾（2回） 平成24年7月14日(土)、平成24年9月29日(土) 天文教育研修会（3回） 平成24年7月30日(月) 13:30～16:30 平成24年8月6日(月) 13:30～16:30 平成24年8月20日(月) 13:30～16:30 中学校理科教育研修会（1回） 平成24年5月16日(水) 15:00～17:00

学校との連携授業
・ 市内、三重郡の小中学校を対象に、出前授業を実施 バーチャル星空探検 平成24年9月～11月の火～金曜日 対象:小学校4年生と6年生 内容:スペースシャトルと国際宇宙ステーションについて、 立体映像装置を用いて学習する。 実施校数:26校(市内23校、三重郡3校) 移動式プラネタリウム 平成24年11月～平成25年1月の原則火～金曜日 対象:中学校3年生 内容:星の日周運動や年周運動、北極・赤道での太陽の 動き、金星の満ち欠けなどについて学習する。 実施校数:17校(市内15校、三重郡2校)

四日市子ども科学セミナー
「Part3 四日市発！宇宙への旅 ～JAXA 平林久先生の宇宙クイズに挑戦！～」 日時:平成24年8月8日(水)13:30～16:30 講師:平林久 登壇:樋口清司 司会:渡辺克己 場所:四日市市文化会館 第一ホール

7. 移動天文車「きらら号」事業

口径 20cm の天体望遠鏡を載せた移動天文車による星空観望会を実施した。天文ボランティアの方々の協力を得て、子どもから大人まで多くの人に実際の宇宙の姿を眺めていただいた。

(1) 派遣事業

要請により市内各地へ出勤し、天文ボランティアの協力を得て観望会を行った。

「きらら号」稼働状況（派遣事業のみ）
稼働予定件数 38件 (うち派遣回数:27回、中止時の天文教室回数:6回 天候不順のため中止:5回) 参加者数 3,034人 (うち中止時の天文教室参加者数 331人) ボランティア数 延べ108人

(2) 主催事業

「きらら号」稼働状況（主催事業のみ）
稼働予定件数 12件 (うち実施回数:10回、天候不順のため中止:2回) 参加者数 2,797人 ボランティア数 延べ103人
太陽を見よう 日時:平成24年5月5日(祝) 10:00～12:00 場所:市民公園(博物館前)
太陽を見よう(四日市子どもまつり) 日時:平成24年5月20日(日) 10:00～15:00 場所:四日市ドーム
奇跡のリング 金環日食を見よう 日時:平成24年5月21日(月) 6:30～9:00 場所:市民公園(博物館前)
月と火星、土星を見よう 日時:平成24年6月2日(土) 19:00～20:30 場所:市民公園(博物館前)
太陽にはくろ!? 金星の日面通過 日時:平成24年6月6日(水) 10:00～12:00 場所:市民公園(博物館前)
七夕の星を見よう 日時:平成24年7月7日(土) 19:30～21:00 場所:市民公園(博物館前)

お月見をしよう(中秋の名月)

日時:平成 24 年 9 月 30 日(日) 19:00~20:30

場所:市民公園(博物館前)

お月見をしよう(栗名月)

日時:平成 24 年 10 月 27 日(土) 18:30~20:00

場所:市民公園(博物館前)

月と木星を見よう

日時:平成 25 年 1 月 19 日(土) 18:30~20:00

場所:市民公園(博物館前)

月と木星を見よう

日時:平成 25 年 2 月 16 日(土) 18:30~20:00

場所:市民公園(博物館前)

月と木星を見よう

日時:平成 25 年 3 月 16 日(土) 18:30~20:00

場所:市民公園(博物館前)

月と木星を見よう

日時:平成 25 年 3 月 23 日(土) 18:00~19:00

場所:市民公園(博物館前)

館内整備期間(9月上旬)

観覧料金

区分	博物館特別展示	プラネタリウム	プラネタリウム特別番組
一般	その都度定める額	530円	その都度定める額
高大生		370円	
小中生	無料	200円	

20名以上の団体は2割引 博物館常設展示は無料

施設利用

	9時30分~12時	13~17時	9時30分~17時
特別展示室 595㎡	-	-	31,500円
講座室 142㎡	8,400円	12,600円	21,000円
市民ギャラリー-94㎡	-	-	2,100円

観覧料等を徴収する場合は、100分の50を乗じて得た額を加算する。

博物館の設置目的に反しないもの、事業に支障のないものに限る。

商業宣伝、営業行為には使用できない。

8. 開館時間等

開館時間

午前9時30分から午後5時まで

(ただし展覧会への入場は午後4時30分までに)

休館日

月曜日(休日の場合は翌日)及び年末年始

9. 月別観覧者数

月	常設展		特別・企画展		プラネタリウム			月計
4月	26日	1,069	9日	1,071	23日	71回	1,541	3,681
5月	26日	1,723	26日	2,950	21日	65回	3,284	7,957
6月	26日	2,786	21日	4,492	25日	96回	5,244	12,522
7月	26日	2,454	15日	2,517	27日	103回	6,036	11,007
8月	27日	3,432	27日	7,062	28日	121回	10,602	21,096
9月	17日	923	4日	979	17日	60回	2,877	4,779
10月	26日	1,739	26日	2,662	22日	79回	2,833	7,234
11月	26日	2,252	21日	2,542	26日	85回	3,609	8,403
12月	24日	1,041	8日	368	21日	68回	1,853	3,262
25年1月	24日	2,047	11日	2,275	19日	64回	2,301	6,623
2月	24日	3,369	24日	5,114	23日	81回	2,813	11,296
3月	27日	1,687	3日	691	24日	87回	2,300	4,678
合計	299日	24,522	195日	32,723	274日	980回	45,293	102,538

[参考]

過去3年間の観覧者数

年度	常設展		特別・企画展		プラネタリウム		合計人数
23	300日	23,859人	187日	22,152人	276日	45,215人	91,226人
22	299日	24,479人	195日	27,903人	275日	45,406人	97,788人
21	300日	22,399人	217日	24,956人	278日	38,538人	85,893人